

3 正答数の状況

教科に関する調査における本道の正答数の状況について、全国との比較を示しています。

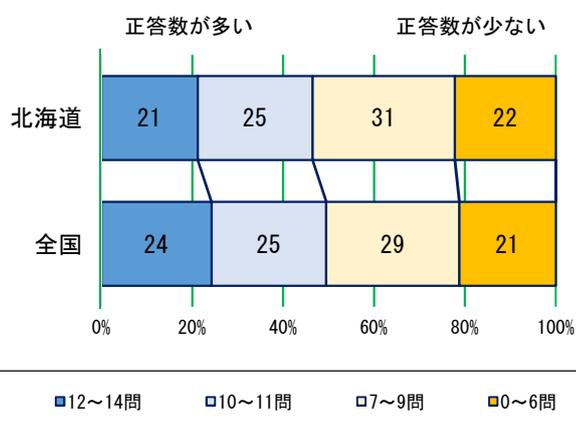
(1) 教科ごとの正答数別4つの層の割合

※ 教科ごとに「全国の『正答数別四分位』」により「正答数が多い層」「正答数がやや多い層」「正答数がやや少ない層」「正答数が少ない層」の割合を示しています。

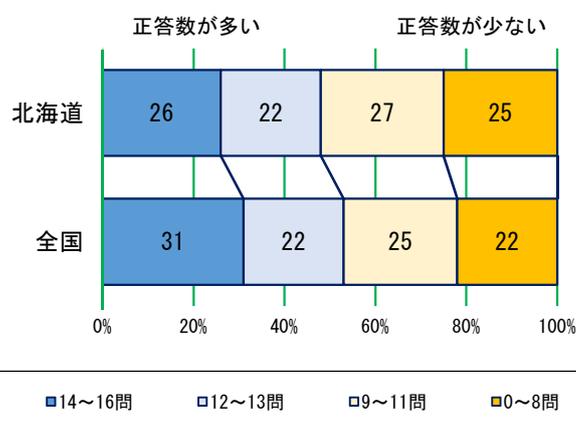
※ それぞれの層の割合の数値は、小数第1位を四捨五入した整数値で表しているため合計して100にならない場合があります。

小学校

国語

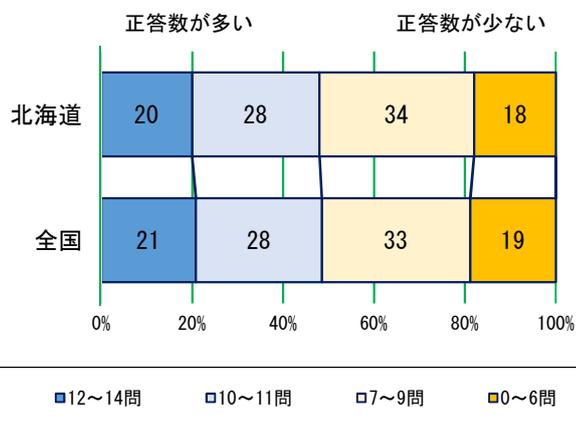


算数

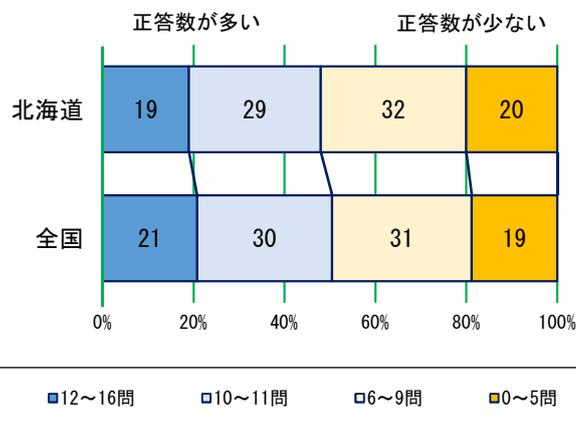


中学校

国語



数学

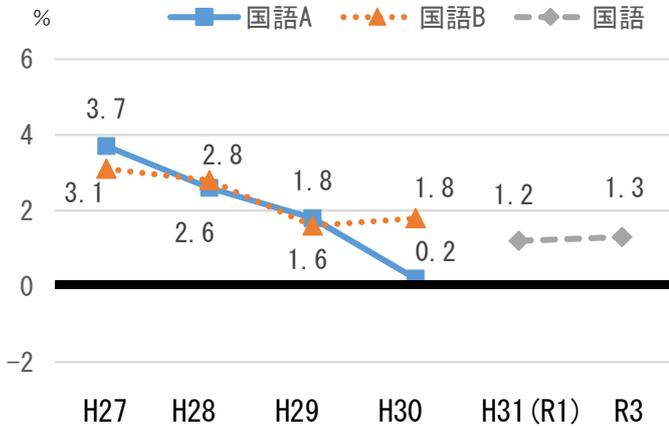


(2) 正答数の少ない児童生徒の割合

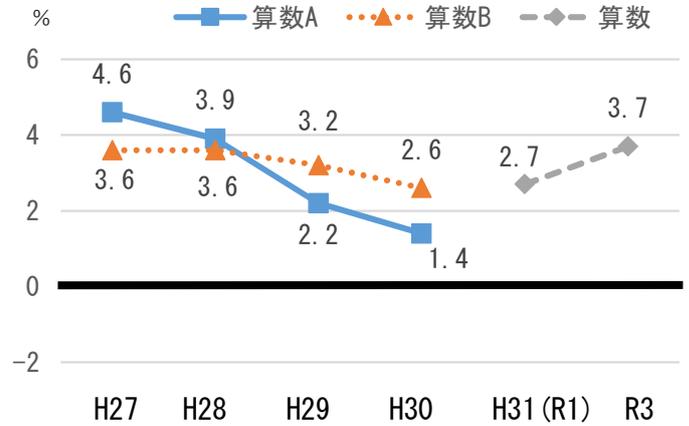
※ 全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童生徒の割合について、各教科の平成27年度から令和3年度までの全国との差の状況を示しています。

- ・ 0以下の場合→全国よりも「正答数の少ない層」が少ない
- ・ 0以上の場合→全国よりも「正答数の少ない層」が多い

小学校国語



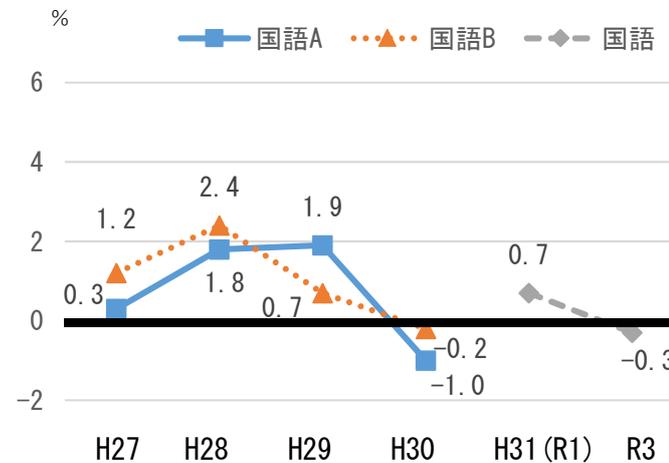
小学校算数



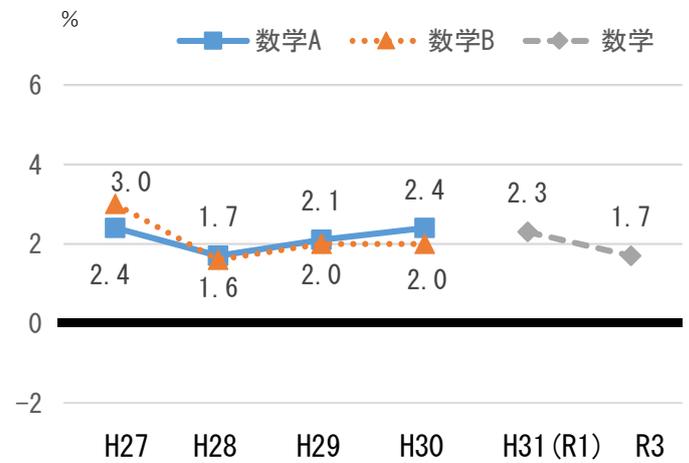
【考察】

国語、算数ともに、H27からH30にかけて「正答数の少ない層」に含まれる児童の割合が減少傾向だったものの、A問題とB問題が一体化されたH31 (R1) からR3にかけて増加傾向に転じている。

中学校国語



中学校数学



【考察】

国語では、H28からH30にかけて「正答数の少ない層」に含まれる生徒の割合が減少傾向であり、A問題とB問題が一体化されたH31 (R1) には増加したが、R3にかけて減少傾向がうかがえる。

数学では、H28からH30にかけて「正答数の少ない層」に含まれる生徒の割合が増加傾向であったが、A問題とB問題が一体化されたH31 (R1) からR3にかけて減少傾向に転じている。

【参考】今年度対象となった生徒の小学校6学年時の結果

【平成30年度（小学校）】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A

全道	全国
22.2%	22.0%
全国との差 0.2多い	

小学校国語B

全道	全国
20.4%	18.6%
全国との差 1.8多い	

小学校算数A

全道	全国
25.7%	24.3%
全国との差 1.4多い	

小学校算数B

全道	全国
22.2%	19.6%
全国との差 2.6多い	